

令和4年度

海外への魅力的な 情報発信

外国人観光客の誘致やまちの産品などを海外にPRするための情報発信については、ターゲットとする人々のニーズや文化を理解し、興味を持ってもらえるようなコンテンツ選定や仕掛けが必要となります。

この研修では様々な取組事例から、外国人観光客誘致や、海外にもの売り込むためのノウハウやツールを活用した魅力的な情報発信の手法について学びます。また、新型コロナウイルスの影響を受けている今だからこそ実施すべき対策等についても考えます。

研修の ポイント

- ① 海外のターゲットに対して有効なツールを知り、効果的なプロモーションを考える。
- ② 受入側の安心安全をPRするノウハウを得る。
- ③ マーケティングの基礎を学び、地域の洗い出し、差別化を考え、ターゲットの絞り方を学ぶ。

開催要領

日 程

令和4年9月12日(月)～9月14日(水)(3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

市区町村等で観光振興及びまちの産品の振興業務に携わる職員
自治体と協働して観光振興やまちの産品の振興を行う観光協会やNPOの職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
※議員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください
(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申し込みください。

募集人数

30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

10,200円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和4年7月26日(火)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。

[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和4年

9月

12日(月)

11:00~

入寮受付・昼食

12:30~

開講・オリエンテーション

13:00~15:55

講義 海外への魅力的な情報発信～マーケティングの基礎～

ぴあ株式会社 コンテンツ・ソリューションユニット チーフプロデューサー **宮崎 裕二 氏**

外国人観光客はどのような手段で訪問地域を選んでいるか、また、どのような内容、表現がターゲットとする国への情報発信に適しているのかなどについてお話しいたします。マーケティングの基礎を学び、そのノウハウを活用できることを目指します。

16:10~17:00

事例紹介 海外への魅力的な情報発信

一般社団法人 山陰インバウンド機構代表理事 **福井 善朗 氏**

外国人観光客をターゲットにするには、外国人の目線で地域の良さや特徴を見直すことも重要です。この時間は、地元に住する国際交流員や外国語教師等による目線で山陰の良さを再発見して海外に発信したり、日本のことをもっと知りたい外国人とネットワークを構築して情報交換し、施策に反映されている事例をお聞きます。

17:30~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25~12:00

講義 海外への魅力的な情報発信～SNS等を活用して～

ぴあ株式会社 コンテンツ・ソリューションユニット チーフプロデューサー **宮崎 裕二 氏**

コロナ禍で、海外との交流等が難しい現状でも海外へ情報を発信するには、SNSの活用は必須です。海外のターゲットに対してどのようにアプローチすべきかお話しいたします。

13:00~13:50

事例紹介 海外への魅力的な情報発信

一般社団法人宮城創生DMO副会長／株式会社ライフブリッジ代表取締役 **櫻井 亮太郎 氏**

この時間は、SNSを効果的に活用して海外へ情報発信をしておられる事例をお聞きます。SNS解析を含むインバウンド関連のビッグデータを分析し、ターゲットとする国の外国人の動向を考え、最適な情報発信ツールをいかに見つけていかに発信するかお話しいたします。

14:05~17:00

演習 海外への戦略的な情報発信の方策を考える

ぴあ株式会社 コンテンツ・ソリューションユニット チーフプロデューサー **宮崎 裕二 氏**

ここまでの講義・事例紹介を踏まえて、外国人観光客の誘致やまちの製品のPR策について、グループなどで討議を行います。

9:00~10:30

講義 観光地の危機コミュニケーション

～ポストコロナ、災害時、復興に向けた海外市場への情報発信のポイント～

観光レジリエンス研究所代表 **高松 正人 氏**

気候変動に伴う自然災害の増加・激甚化、新型コロナウイルス感染症の流行等を経験した世界の人々は、旅行先や宿泊・観光施設が安全であり、安心して観光できることを今まで以上に重視するようになりました。自然災害や事件・事故、感染症等の危機後、観光客を呼び戻すためにはその地域で安全が確保され、安心して旅行・観光ができる状態に戻っていることを海外市場に伝えることが重要です。この時間は、アフターコロナも視野に、危機後の受入地域は誰に対して何を、どのようにコミュニケーションすべきかお話しいたします。

10:45~12:15

演習 海外への戦略的な情報発信の方策を考える(発表、講評)

ぴあ株式会社 コンテンツ・ソリューションユニット チーフプロデューサー **宮崎 裕二 氏**

前日の演習の成果を発表していただき、全体で共有します。また、発表に対して講師から講評いただき、3日間のまとめを行います。

12:15~12:45

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和4年

9月

14日(水)